



令和3年度 5月号

和田中だより

多摩市立和田中学校 HP アドレス <http://schit.net/tama/jhwada/>



自己肯定感・自己有用感を伸ばす

校長 伊藤 映二

木々の緑が鮮やかな季節となりました。

大型連休が終わり、学校では今月22日（土）の体育大会に向けて、練習も本格化しています。

「自分で、自分をほめたい」この言葉は、オリンピックの女子マラソン競技で2度メダルをとった有森裕子さんのインタビューでの有名な言葉です。その有森さんも、お医者さんに「足が曲がっているため陸上選手には向いていない。」と言われていたそうです。しかし、走ることが好きで、足の痛みを我慢しながら練習を積み重ね、1992年バルセロナ五輪女子マラソン銀メダル、1996年アトランタ五輪銅メダルという成績とともに、この言葉を残しました。

本校には400名を越える生徒が学校生活を送っています。運動が得意な生徒もいれば、苦手な生徒がいるのは当たり前のことです。「体育大会は嫌だな」と思っている生徒がいるかもしれません。しかし、今回の体育大会に限らず、学校の中の多くの活動では「全体の中でどのような成績が残せたか」も大事かもしれませんが、「自分の中でどれだけ頑張れたか」がより大切です。

日本の若者は、諸外国に比べて自己肯定感や自己有用感が低いと言われています。学校行事は、自己肯定感や自己有用感を伸ばす大きなチャンスです。物事に全力で、精一杯取り組んだからこそ得られる達成感や成就感を感じながら、頑張れた自分が好きになっていくのだと思います。はじめに紹介した有森裕子さんの言葉「自分で、自分をほめたい」という頑張りが大切なのです。体育大会では、精一杯頑張ったときの達成感や成就感をぜひ味わって欲しいと思います。

和田中学校では、学校行事を自己肯定感や自己有用感を伸ばすチャンスととらえ、生徒の成長を促してまいります。体育大会の練習に伴い、体操着の洗濯等でご家庭にもご負担をおかけいたしますが、ご協力の程、よろしく願いいたします。また、子供たちの話に耳を傾け、励ましの言葉をかけてあげてください。

【体育大会の参観について】

新型コロナウイルス感染症予防のため、体育大会の保護者の参観は、各ご家庭1名とさせていただきます。体育大会のようすをオンラインで配信していきたいと思っております。ご来校いただく場合もマスクを着用して密を避け、来校前に検温を行って受付にて健康観察表をご提出ください。また、当日は気温の上昇も懸念されますので、ご参観の皆様についてもこまめな水分補給等、十分な熱中症対策をお願いします。

今後の感染者数の推移によっては、体育大会の内容や参観の方法を変更する場合があります。ご了承ください。

特別支援教室「おおぐり」開校

学習上又は生活上学校生活を送るのに困難を感じている生徒等に対して、その改善に向け個別指導を行う特別支援教室「おおぐり」が本年度から開校しました。週最大2時間の個別指導を、派遣された専門の教員により本校内で受けることができます。学校生活を送る上で困り感を感じているお子さんのご家庭は、学年や担任、養護教諭までご相談ください。